

高崎支部

ま 年 今 2007年

たそがれけんぱり



元旦稽古会

健 や か で



今年はずいぶんお元日でした。昨年は曇ってしまつて当地では初日の出は叶わなかつたが今年各地で初日の出が拝めたことであろう。一年の計は元旦に...

Table with 2 columns: 発行場所 (発行所), 高崎市石原町, 高崎武道館, 高崎責任者 (高崎支部), 剣道連盟高崎支部, 広報担当 (上條)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

えることができます。幸運であります。それ小学生や中学高校生と若い人の息吹の中にあつて稽古ができるのは増しては至福である。今年も八十余名の支部の剣士達が集いました。館内には笠井副支部長先生の恒例の書き流しが掲げられま...

四海浪平 平成十九年元旦

争いが継続され毎日のように尊い命を無惨にも奪つたり奪われたりしている。いま日本は本当に平和だがこの日本の平和とて盤石なものとはいえない。とにかく今日元旦の日に竹刀が振れることこれ本に幸いと思わなくては...



克己復礼

支部長 橋本貞治

明けましておめでとうございます。皆様には健康やかに新年を迎え思い新たに剣道に取り組まれていることと思います。それぞれの目標に向かってまっしぐらに稽古に励んで下さい。

昨年の支部諸行事には色々ご協力頂き有難うございました。今年市町村合併による新高崎支部結成の問題もあり一層のお力添えをお願いします。昨今、凶悪な犯罪や痛ましい事件、事故が頻りに起き信頼と安心の出来ない世の中になつてしまいました。いじめやそれによる自殺も大きな社会問題になっています。日本は繁栄した社会の中で物の豊かさの反面、心が貧しくなり日本人の美徳である衣食足りて礼節を知る、と云う心も失われてしまつたようです。

孔子の教えに「克己復礼為仁」(己に克ちて礼に復るを仁と為す)と有ります。剣道も武の三則として「正義を尊び、廉恥を重んじ、礼節を旨とすべし」と日本人の精神を教えています。剣道は稽古の積み重ねが豊かな心と強靱な身体を醸成します。剣道の本質は、技は枝葉であり心こそ本体であります。しかしながらその枝葉である技の鍛錬なくして剣道はありえません。百練の稽古で技を身に付け、千鍛万練の稽古が他人を思いやる心や克己心、不撓不屈の精神や武の三則などの精神が養われ人間としての豊かな心が育成されます。

こうした不動の心と強靱な身体を育てる心身一如の剣道こそ人間形成の道であり剣道の普及発展に繋がるものと思います。これからは全剣連が明示した剣道の理念や修練の心構えに沿って、一に稽古二に稽古三に稽古四に工夫で五に稽古の心構えで、これからも稽古に邁進したいと思つています。終りに皆様のご多幸と活躍をご祈念致します。



小田本さんの号令で初素振り

高崎剣道の思い出

前島七郎 (全日本官公庁剣道連盟副会長)

36年前、浅間山荘事件、連合赤軍死体発掘事件(倉淵村)、大久保事件等で、世間を賑わした時代に、東京から高崎電報電話局(NTT)に剣道防具を担いで赴任し、最初に稽古をいただいたのが中島義孝先生でした。早速局内に剣道部を作り、局長室を更衣室にして屋上で稽古を始めました。NTT剣道部の始まりです。

高崎警察署は当時電話局の真向かいにあり、剣道部員を連れて警察署の道場に通うようになりました。その年の警察署対抗剣道大会で、いつも一回戦で敗れていた高崎警察署がアレヨアレヨと決勝戦まで勝ち進み、応援していた私も優勝すると思っただ位の勢いでしたが大将の一本差で準優勝になりました。初めてのことで所長さん以下幹部の方は大喜び、早速署内で大祝勝会が開かれ、乾杯の音頭が小生になりました。以来警察署では局長と呼ばれるより「先生」と呼ばれることが多くなりました。

警察署の稽古を子連れで見に来られた母親から、この子にも剣道を教えてくれませんかと頼まれ、二人三人と増え30人位になり小泉呉服店の小泉吉且先生や大沢商店の大沢登先生と協力合せて、週二回の剣道教室をつくりました。それが読売新聞に載りました。

古関幸平先生にお会いし、剣道でのおつき合いの輪が更に広まりました。東部通信工業道場では沖昌憲先生、古関実先生、橋本貞治先生、澤間淳先生、等沢山の方と稽古をさせて頂きました。大晦日には市の体育館で年越稽古をし、幸平先生の大きな声での新年の挨拶を伺ってから東京へ帰ったものでした。齋藤正毅先生は局長社宅での剣道部懇親会に度々かけつけて酒宴を盛り上げてくれました。剣道を通じて高崎の沢山の方と交流させて頂き、群馬県社会人剣道大会には



後輩たちに囲まれて前島先生：18.7.29群馬県社会人剣道大会

今でも毎年お招きをいただき、感謝に堪えません。その後75歳でNTT関連会社に退くと別の会社から監査役に頼まれました。これからは単に印を押すだけの監査役ではいけないと、複式簿記の勉強で1年間夜学に通いました。77歳ながら何とか上位の成績で卒業でき78歳でパソコンに挑戦し今ではソコンで複式簿記らしきことをやるようになりました。剣道が続けてきた根気と気迫のお陰だと思っています。小生が師範をしておりますNTT剣道部(東京)が全日本実業団剣道大会300チームの中で2年連続優勝、関東実業団優勝を含めると3回の連続優勝です。勝負も気迫の攻めだと思ひます。小生は82歳、攻めに徹しながら、剣道に感謝し、剣道を学ぶ人を尊敬し、年相応の修業を続けていきたいと思ひます。

高崎の剣友の皆さんよろしくお願ひします。

平成18年度 第2回一級審査会 大補習でどうにか合格

一月十四日第二回剣道一級審査会が開催された。四十四名の中学生が挑戦しました。みんな剣道始めたばかりか・・・今回は出来が・・・と審査員長本多先生が渋い顔でこぼします。審査のあと角田、倉本両先生による大補習が行われました。気合の発声から基本打突の基礎の基礎の大補習である。その結果、どうにか剣道らしくなったと審査員の判断が下され全員合格となった。大補習はお昼をまたがったのでお腹がへったことでしょう。多くの人が秋には初段に挑戦。それまでもっと剣道らしさをぜひ学んでください。

するわけであり、今年十九年夏また社会人剣道大会にお出でいただいで私たちが後輩達を勇気づけて欲しい

角田の各先生親子、根岸先生も小学3年のご子息を同伴した。ネーム垂れ



父が面、娘がお小手 さて軍配は：角田父娘

から打って出られなくなつたら剣道は辞める。と常々

は伊勢崎のかの愛武館が記されています。西山フアミリー、富所親子のみなさんら剣道文化が未来へ続く光景です。老練組も今年も元気に参加だ。武道館の榊毛・龍神さん。筆頭は福地先輩今年も動きがいい。齢七十を境に一步一步若返っているのではないだろうか。自分

会又来年も(おっと！鬼



右へ左へ今年も元気：福地先生

生からご寄稿いただきま

さんが笑うか)、この日だけは変わらぬと祈つて止みません。私もそうですが元旦に竹刀をたずさえ稽古をすることはすなわち意識しなくてもそれは生涯剣道を愛することと繋がっているものと考えます。生涯剣道を貫いて今なお一層健勝な先生からご寄稿いただきました。官公庁剣道連盟副会長前島先生です。先生

なく・・・”との言葉です。この言葉をいただくたびに

は齢八十を超えた今でもお務めも剣道も現役でいらつしやる。毎年暑い夏に社会人剣道大会にお招きしご挨拶をいただいております。毎回ご挨拶の中で勇気づけられるお言葉は”どうぞみなさんけっして剣道から離れることなく・・・”との言葉です。



渋い顔の本多先生：最後は剣道らしくなったと激励

とここに切に願ひます。

すいらん正月稽古会 30余人OB現役が 新春の汗

一月三日、高崎高校剣友会の正月稽古会に押しかけました。昨年正月は高崎商業OB会稽古会に参加しましたが今年も遠慮なく卒業生でもないの

です。剣道高崎支部の運営に多くのOBの皆さんが尽力をされている当校である。副支部長笠井先生、吉野先生、支部事務局長藤木先生、角田、中



不撓不屈のすいらん仲間のみなさん

不撓不屈

群馬県立高崎高等学校剣道部

曾根先生等みなさん当校の卒業生です。剣道場には歴代の顧問先生の写真そして卒業生の写真が延々と繋がって掲載されています。写真が剣道部の歴史を物語っていますね。

当校は不撓不屈の精神でその卒業生は各界で大活躍しているの言うまでもありません。筆者もタカタカの下駄には本当に憧れたものです。ちよいつと足らずで下駄を履くことはできませんでした。しかしこうして剣道を通じて高崎高校のOBのみなさんと親交させていただけるのは大きな宝

古会の挨拶を別府先生が行われました。「現

役の生徒さんは今年はずいぶん少ないようです。少いところは少ないなりによいところがあります。」と現役後輩達を励ました。凡そ一時間の稽古、現役はOBに懸命にかかり、久々再会のOB同士も竹刀を交え快い汗をかきました。筆者も久方ぶりに沖さん（故沖先生の子息）に挑みました。沖さんも「もう五〇ですよ」とひと言。でもしつかり剣道は続けていなされ、お父様もきつと喜んでい

るのでは。沖さんの卒業当時の写真を案内していただいた。昭和五一年みな髪のはやや長髪か。余筆だが筆者も学生の頃は長かったがいま頭をかくと誠に抵抗が少くない。角田、中曾根両先生も同期だそうですね。みな



同期の桜は生涯の宝物

さんかわいい顔してね。卒業生の写真がこの剣道場一回りするのにあとどの位であろうか。一年も欠けることなく延々とつながることを祈りたい。



緊張、緊張 賞状上様拝受

賞状を拝受してまいりました。賞状をいただくなんて何十年ぶり、剣道の表彰式で子どもたちがどのように振る舞ってよいのかと戸惑う気持ちがよくわかります。この年になっても緊張してしまいますよ。高崎市内の剣道場はそれぞれに長い歴史があります。高崎剣道教室は当初高崎支部の活動として始まり多くの子どもたちを育んでもう三十余年が経過しました。この間、初代杉本先生、二代橋本先生そして三代笠井先生へとバトンが引き継がれてまいりました。高崎武

道館と歩んできた剣道教室

一月十四日ぐんま武道館で県下十傑表彰並びに少年剣道教育奨励賞の表彰式が開催されました。高崎では十傑該当者はおりませんが、高崎剣道教室が教育奨励賞を受賞しました。笠井室長先生が当日一級審査会のため、名代上條が出席し



少年剣道教育奨励賞 高崎剣道教室殿
少年少女剣道指導は、永年、県内外、社会、家庭、学校、教育、文化、福祉、社会、向上に資する活動を通じて、こころを育て、健全な成長を促すこと、これにこそ意義を求めます。高崎剣道教室は、この趣意に賛同し、少年剣道教育奨励賞を贈呈します。平成十九年一月二十三日 群馬県剣道連盟 会長 武安義光

高崎剣道教室 少年剣道教育奨励賞受賞

一月十四日ぐんま武道館で受賞



記念集：竹一竿

三〇年、これもタイムリであるが記念集が作成されました。表題は「竹一竿」笠井先生の自書により想いが語られています。竹一竿とは釣りのこと。禅林句集の中に「山僧の活計、茶三畝、漁父の生涯竹一竿」とあります。山寺の僧は小さな畑に茶を植えて暮らしている。漁師は一本の釣り竿で生涯をつつがなく送っていると言の意味だそうです。そう一本の釣り竿を竹刀に例え、ただ黙々と剣道を嗜みつつがなく暮らす。そんな素朴な生活も大変贅沢な生き方も知れません。これから剣道教室も長くながく続いていくのであっても多くの子どもたちが剣道の妙味をしっかりと巣立っていけば素晴らしいことと思います。

誕生 魁 洗 館



長井剣道場

かいらがねが いけんどうじょう

昨年十二月新しき道場が誕生しました。その名を「魁洗館（かいらがね）長井剣道場」と申します。館長はいつもコンバットで高崎支部を支える長井憲一先生です。

場所が高崎商業高のやや南東と言ったところ。東貝沢町まだ建設中の町並みの中に大きな道場を構えられました。この道場の披露目の式が去る十二月二四日賑々しく行われました。当日は多くの支部の仲間達や先生の友人知人がお祝いに参席いた



魁洗館の全容



い民宿旅館のようです。ちなみにこの道場の建設には支部藤木先生が携わったそうであります。入口を潜ると民宿の女将さんが「ハライ」と出てきそうな雰囲気である。すでに披露目の式は開催されています。多くの先生方が道場内で主賓の先生方の祝辞に耳を傾けていました。恩師中島県連会長や橋本支部長の挨拶の後、当地学



お祝いに駆けつけた先生方

校区の東部小学校折茂校長先生が挨拶されました。「地域にこうした剣道場ができ剣道を通じて地域が青少年育成を担ってくれることは大変ありがたい」と挨拶されました。折茂校長先生は大類中学在職来、長井館長と親交が深いとのことである。館長の謝辞（おっとさすが長井先生もちよつと緊張？）のあと親子による剣道形が披露されました。仕太刀は崇壮（たかまさ）さん。中島道場から大類中、高崎高校へと進み現在は早稲田大学に通っておられます。剣道も励みずでに四段の腕前である。中体連で活躍していたころがつい昨日のように思い起こせます。

親子の剣道形。しーんと皆さんが見つめます。この一時、愛する我が子と形を打つことこそ長井先生の人生の集大成であると感じます。数年前支部の忘年会でしげしげと先

先生が挨拶されました。「地域にこうした剣道場ができ剣道を通じて地域が青少年育成を担ってくれることは大変ありがたい」と挨拶されました。折茂校長先生は大類中学在職来、長井館長と親交が深いとのことである。館長の謝辞（おっとさすが長井先生もちよつと緊張？）のあと親子による剣道形が披露されました。仕太刀は崇壮（たかまさ）さん。中島道場から大類中、高崎高校へと進み現在は早稲田大学に通っておられます。剣道も励みずでに四段の腕前である。中体連で活躍していたころがつい昨日のように思い起こせます。



父子気合の一本目



初め床肌をみなさんと味わう

生の御手を眺めたことがあります。ごつい手のひらのいたる筋の中に染みついていく自動車の油。この御手を見るだけで先生の半生を語るのには十分と思えるほどの働く手業という事業を大成されるの・・・きつと。

これからは大好きな剣道を通じての青少年の健全育成という道が始まったのであります。剣を気合を入れて振り下ろす時に数々のこれまでの苦心がよぎったに違いありません。大変見事な父子の剣道形でした。剣道形のあとは参席者の前で支部の仲間達と稽古です。道場の名札掛けにはまだ誰のものも掲載されておられません。そして真新しい床面、これから長い間多くの子どもたちの汗を吸っていくんですね。道場の片隅で稽古を見つめているのは長井母娘。集大成の下には家族あり。きつとそうだよ。長井先生が好きな剣道をやりつづけられるのも奥様や娘さんの・・・きつと。

「魁洗館」の命名は笠間稲荷神社からいただいたとのこと。剣の道を深く広く究め世の中のリーダーとなつて社会に寄与する。そんなような意味があるのではないだろうか。これからこの名の下に多くの子ども



今日だけはお父さんが主役です：長井母娘

もたちが剣道を学んで行きます。魁洗館のこれからの繁栄を祈って止みません。支部の皆さんも応援してください。

◆二月四日 初二段剣道形講習会・市武道館
◆二月十一日 初二段審査会・審判講習会
◆二月十七日 八段受審者研修会・群馬武道館
◆二月二十五日 都道府県対抗県予選会 群馬武道館
◆三月十八日 三～五段練、教士審査会 群馬武道館
◆三月二十四日 二五日東日本中学校選抜剣道大会 群馬アリーナ

■編集後記
新年早々驚く事件が続発してまします。つくづく人の成長過程の大切さが身にしみえます。各道場教室もまた剣道を教えることだけでなく折に触れて命や家族、そして平和の大切さを唱えて行かなくては。剣道少年少女たちも必ず剣道しながら先生や仲間たちと交わる中で学んでいくものはきっと大きいはずですから。 広報 上條